

20 誌

N I S E N S

KAGOSHIMA ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF YOUTH GROUP

NISENSHI vol.41 2018 summer
2018年10月31日発行
発行：一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会

□ 41 / 第41号



Let's start 青年部会新体制でスタート

▪ 新部会長挨拶 ▪ 青年部会会員紹介 ▪ 研修報告

各部会報告 / 新入会員紹介 / 〈会員のイチオシ〉 member's Recommend

□ 伊作小学校校舎建築工事（1工区）- 株式会社重留建設

発注者曰置市。私たちの仕事は、直接まちづくりに繋がっています。

INTERVIEW

青年部会新部会長挨拶

2

SPECIAL REPORT

青年部会定期総会

1

鹿児島県建築協会青年部会 部会長 田島 功輔 株式会社田島組
Takeshi Kondo

創立当初からの活動目的を軸に、各活動を積極的に推進



田島功輔新部会長の元、新体制での最初の事業として、平成30年4月19日に定時総会を開催し、昨年度の事業や決算の報告と今年度の事業・予算案が無事承認されました。昨年度の事業報告では、掘ノ内直前部会長体制時の各委員長が2年間の活動の総括と今期への期待を述べ、今年度事業報告においては、新各委員長が新たな決意と意気込みを述べました。その後の懇親会では、本会よりお越し頂いた一般社団法人鹿児島県建築協会、中村明人会長からのご挨拶御来賓としてお越し頂いた株式会社鹿児島建設新聞・代表取締役社長の迫博人様の乾杯の音頭と共にスパークしました。

また今年度より新たに事務局に
こられた、新保高志専務理事から
就任のご挨拶もあり、終始和やか
な雰囲気の中、会員同士の親睦や
ご来賓の方々との意見・情報交換
が行われた会となりました。新体
制の元、今後も青年部会一丸とな
て頑張って参ります。



「情報の共有化」「業界の社会的地位の向上」「産業発展への寄与」「地域社会への貢献」を主な活動目的の柱として取り組んでまいりました。私が部会長を務めさせていたところ、業界を取り巻く環境や問題がますます複雑化・多様化する中で、業界の活性化と発展に貢献するため、より多くの皆様に情報共有化の機会を提供するため、この度、青年部会は創立当初より

これらの事業を中心には、会員数40名前後と小さな団体ではあります
が、活発かつ有意義な青年部会活動を心がけ取り組んでまいります。
よろしくお願ひいたします。

2016年、私ども一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会は創立20年という節目の年を迎えていた。創立20周年記念式典を開催するにあたり、建築協会のみならず建築業界の次代を担う中心的組織として創立された青年部会20年の歴史と、これまで当部会を築き支えてくださったOBの先輩方や親会組織であります一般社団法人鹿児島県建築協会や関係団体の皆様の多大なるご理解とご協力の軌跡を、あらためて実感させていた

に積極的に取り組むべく3委員会を構成し、次の通り計画・展開してまいります。

- 1 総務・IT委員会・・・青年部会PRの為の2000誌発行や県内各種青年団体との交流会。
- 2 会員研修委員会・・・会員の資質向上を目指す講師をお招きしての研修会や会員拡大事業。
- 3 活動委員会・・・高校生等を対象とした「建築施工の魅力」を伝える事業やボランティア活動。

□3
39
member's

青年部会会員紹介

建築協会青年部会は、県内各地域にて事業活動をされている多くの企業の経営者が集まり構成されている組織です。建築協会青年部会は、経営者の資質を向上させる研修を行ったり、建築業界が発展していくための勉強・改善を行ったり、建築業界の魅力を知ってもらうための広報活動や、地域への恩返しにボランティア活動、未来を担っていく青少年の育成等を行っています。現在、青年部会には39名の会員が在籍。この記事では各エリアごとに、所属している会社を紹介しています。



| | | | | |
|-----------------|--|-------------------------------------|-------------------|--|
| ①【北薩支部】 | 宇都孝洋 久保廣之進 重留巧治 山下結城 田頭謙一 田島功輔 中池竜介 | Hello! 一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会 | ④【姶良・伊佐支部】 | 有村幸光 荒木康之 石野田洋昭 田上俊介 深町康宏 堀ノ内茂樹 南 浩二 安田将希 山口秀典 |
| ②【鹿児島支部】 | 内村明高 木落孝作 中村俊仁 吉留 磨 前田晋吾 福満吉純 鶴留洋平 久永徹郎 前田忠倫 満塙将太 川崎啓二 山下和紀 | | ⑤【曾於支部】 | 内山吉二 吉留祐介 南 智和 村岡博文 |
| ③【南薩支部】 | 株式会社今給黎建設 株式会社田川組 マル川建設株式会社 | 今給黎政幸 近藤慶太郎 川原大地 | ⑥【鹿屋支部】 | 株式会社森建設 森 義大 |
| | | | ⑦【奄美支部】 | 伊藤 誠 政 和豊 富 真也 |

ACTIVITY REPORT

活動報告



■ 講習会の様子
テーマは「組織を動かす目標管理
“チェンジミーティング”」

参加者からは、自社で実践する際のコツに関する質問や、もっとマネジメントに関する知識を身につけたいという意見などが時間いっぱい出ていました。これからも時代の流れを読み取った研修を継続し、会員各社、そして建築業界の発展に繋げていきたいと思います。

前半では、マネジメントの最新の動向の講義が行われ、従来型の「目標設定→達成度評価→フィードバック」という仕組みから脱却、そして、人が会社を選ぶ時代において、どのようにして働きがいを実現していくかということを学びました。

後半では、「チェンジミーティング」の手法に則って、グループワークを行いました。法則つまり、グループワークを行いました。イワークス共同創業者CEOの田口光彦氏をお迎えしました。

時代を読んだ研修を開催

□4

経営者講習会

開催

REPORT

部会報告

member's R recommend vol. 1

株式会社宇都組 宇都 孝洋

みんな知ってた?
毎月最終日は”そば”の日?

江戸の商人が毎月の月末になると縁起物としてそばを食べていたことが由来だそうです。知っていましたか?? ということで、そばを川内まで食べに行こう!! 私が今回紹介させていただくお店は、薩摩川内市東開聞町にある『藤のそば屋』。何が美味しいって? 蕎麦湯が濃厚。今までのお蕎麦屋さんで、蕎麦湯が記憶の片隅に残ることってありましたか?? 私はありませんでした。蕎麦も抜群に美味しいです。川内に寄る機会があったら是非。もちろん私はいつも貴方の”そば”にいます。

文・写真 / 宇都 孝洋

写真は天ぷらざるそば+とろろ+いなり。



New member introduction
～新入会員の紹介～

協和建設株式会社
中村 俊仁
なかむら としひと

青年部会に新しい仲間が加わりました。

◆建築協会青年部会の魅力を発信!
2000誌では、青年部会の活動や建築の魅力を内外に広く、また魅力的に伝えるために発信していきます。今回から、定期的に会員のイチオシを紹介する記事「R」を掲載しています。青年部会員の個人にスポットを当て、様々なジャンルの内容を掲載していきます。“人”から発信することで、会員同士の魅力、また外への情報発信、地域との繋がりも強化していきます。

OTHERS

総務・IT委員会
ヤマグチ株式会社
山口 秀典

■新しい視点・魅せ方で発信する

今年度より建築協会青年部会、総務・IT委員長を仰せつかっております、山口です。総務・IT委員会では、総会や懇親会の運営やレクレーションの開催等、青年部会の円滑な運営ができるよう活動して参ります。今後も、会員向けだけではなく外部にも発信できる内容や企画を盛り込み、青年部会の活動や建築の魅力を知って頂ける機会を増やしていきたいと考えております。

また、昨年度よりはじまりました「web発信セミナー」につきましては、建築業界が抱えている課題等についての勉強ができその中で一つの手段としてIT活用の仕方についても勉強できるようなセミナーにしていきたいと考えています。本委員会の副委員長そして委員の方々と力を合わせて頑張っていきますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

活動委員会

マル川建設株式会社
川原 大地

■目標に対してより効果のある活動

この度、活動委員長を務めさせていただくこととなりました川原です。活動委員会ではこれまで学校訪問型の学生との交流会や業界のイメージアップなどの活動を通じて現在の建築業で深刻化している人材の育成と確保を主な目標として取り組んできました。事業化されてから数年が経ち、そろそろ結果を求められる時期にあります。外部の方を多く巻き込んでの事業が多いことから、経験の少ない自分に務まるのだろうかとの不安もありますが、先輩方が残してくださった成果や学校との関係性があることでゼロからのスタートではないことを心強く感じております。何をするかではなく、目標に対する効果のある活動を!を念頭に事業を進めていきたいと考えております。不届きな点も多くあるかと思いますが、前のめりの姿勢で積極的に取り組んで参りますので今後とも活動委員会へのご協力をよろしくお願い致します。



会員研修委員会

内村建設株式会社
内村 明高

■会員の成長と業界の魅力向上

今年度から2年間会員研修委員会を担当いたします、内村です。会員研修委員会は研修を通して青年部会員の経営者としての資質を高め、各企業の発展につなげることを狙っています。今年度の経営者講習会は、「組織を動かす目標管理 “チェンジミーティング”」と題し経営者のビジョンを、社員とともに具体的な目標に落とし込む手法を学びました。経営者も社員もそれぞれ会社を良くしたいと考えていますが、視点・視野・視座が異なることで、具体的なアプローチはそれ違いがちです。会員に実際のビジョンや事業計画を持ち寄ってもらい、「一緒につくる」ことを体感してもらいました。会員企業の成長により、建築業界全体の魅力も高めていきたいです。引き続きよろしくお願い致します。

